

# キッチンふるはし

## 昔ながらの洋定食

賑やかな広尾商店街の通りから少し外れた場所に佇む、レトロな雰囲気にもまれた昔ながらの定食屋さん「キッチンふるはし」。昭和40年に創業されたこのお店では、揚げたてサクサクの揚げ物やサラダが乗ったプレートとライス、そしてお味噌汁……という昭和の定番だった洋定食スタイルを変わらない味で楽しむ事ができます。



## お客さんから愛され続けるお店

まずメニューを見ると、その品数の多さに圧倒されます。よく見ると全てのメニューの下にメニュー名の英語表記が。これを見て私は、広尾には大使館がたくさんあり外国人のお客さんも多いため、お店が彼らを気遣って始めた取り組みなのかな？思っていました。しかし実際は、お店ではなくお客さんが自主的に行った取り組みなのだそうです。昔、航空会社に勤めていた常連さんが、日本語の分からない同僚が1人でも「キッチンふるはし」に来られるようにと、自主的に英訳したメニューを作り、持って来てくださったそうです。また、昔このお店に通っていた聖心女子大学の韓国人留学生の方が、30年ぶりに旦那さんを連れて食べにいらした、というエピソードも。このようなお話から「キッチンふるはし」が長年たくさんのお客様から愛され続けていることが伝わってきます。

## 店主、古橋さんの想い

現在は2代目店主の古橋さんご夫婦がこのお店を営んでいらっしゃいます。店主の古橋さんが幼い頃には、お店の常連さんが古橋さんを遊びに連れて行ってくださることも多かったそうで、昔は、お客さんとの距離が今よりもさらに近かったようです。

「現代では、『個』の風潮が強くなってしまっているが、このお店では気軽に店主とお喋りできるような、昔から変わらない距離感を感じる事ができる、そんなお店にしていきたい」とおっしゃっていました。

昭和から変わらない落ち着いた雰囲気と美味しい洋定食を、ぜひ「キッチンふるはし」にてご堪能ください！

SRS (聖心 Radio Station) 1年次生部員  
古屋光菜

